

- | | | |
|---|-----------|---|
| 1 | 審議会名 | 上田市男女共同参画推進委員会 |
| 2 | 日 時 | 平成26年11月17日 午後1時30分から3時30分まで |
| 3 | 会 場 | 市民プラザ・ゆう2階 教養室 |
| 4 | 出席者 | 古田委員、清水委員、岩野委員、近藤委員、竹田委員、竹花委員、 田中委員、橋詰委員、山極委員、若尾委員 |
| 5 | 市側出席者 | 滝沢部長、腰原課長、清住補佐、山口係長、小林係長、永井主事 |
| 6 | 公開・非公開等の別 | 公開 |
| 7 | 傍聴者 | 0人 記者 0人 |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 25年11月18日 |

協 議 事 項 等

- 1 開 会 (腰原課長)
- 2 あいさつ・委嘱書交付(課長、部長)
- 3 委員・職員自己紹介
- 4 推進委員会の概要説明(課長)
- 5 会長・副会長の選出(課長 委員の互選)
会長 古田委員、副会長 清水委員(橋詰委員の推薦)
- 6 会議事項
 - (1)上田市における男女共同参画推進体制・団体組織について(課長)

(会長)・県には男女共同参画推進指導委員制度もある。
・国や県も政策転換期であり、第3次計画策定には情報収集の上望んでほしい。
・現状の男女共同参画センターの機能に課題。情報発信の拠点として、ネットワークやパンフレット配架等の整備が必要。

(委員)・コミュニケーターの役割の見直しが必要。自治会役員との懇談などをとりいれてほしい。
⇒設置要領をふまえ、協議していきたい。(課長より回答)
 - (2)第2次上田市男女共同参画計画について(課長)
 - (3)平成25年度上田市男女共同参画事業実施状況について(係長)

(会長)・事業者表彰の実施は、全国的にも数少ない。地域づくりの取組として一定の牽引効果がある。
・ワークライフバランスの数値目標向上などを重点目標にしている点が優れている。

・やりたい講座プロデュースは、優れた企画だと思う。今後も継続してほしい。
⇒今年度以降も継続していく予定(係長より回答)

・上田市の不育症支援制度は進展したか。(神奈川の「不育症そだてねっと」冊子持参、回覧)
⇒進展したとは聞いていない。引き続き情報収集する。(係長より回答)
 - (委員)・具体的施策が重点的目標との関係が分かりにくい。
⇒個々の施策展開にあたって重点目標を念頭にしており、今後もその点には特に留意していく。(係長より回答)
・農村生活マイスターについて積極的に情報提供・公開を進めてほしい。
⇒現状について情報収集をし、報告する(係長より回答)

- ・若者の出会いの場を提供する計画はあるのか。
⇒直接的には政策企画局で定住に結びつける形で婚活支援に取り組んでいる。(課長より回答)
- ・他の自治体では、少子化対策として婚活に取り組んでいるケースもある。
⇒当課では、公民館や子育て子育て支援課と協力し、一人親家庭の自立支援講座を開催するなどしている。婚活に限定されないが、当事者同士の出会いの場を提供することにもつながっている。(係長より説明)

(4) 平成26年度上田市男女共同参画事業実施状況について(永井)

(5) 上田市の男女共同参画状況について(課長)

(会長)・庁内会議の頻度はどのくらいか。各地域の意見聴取等の機会はあるのか。

⇒庁内ネットワークを利用し、定期的に情報提供している。意見聴取については個別の照会で情報収集している。(課長より回答)

(委員)・認知症サポーターについて養成人数だけでなく、実際に活動に結びついた人数は把握しているか? 今後は実績の中にも含める事が必要ではないか。

⇒今後は実績の中にも含めていく。現状については、コミュニケーターを通じ情報収集し、報告する。(係長による回答)

・第3次計画策定にあたって、意識調査の実施が必要ではないか。

⇒来年度、意識調査を実施し、策定の参考にする。5年に1度の調査であるため、過去の動向と比較する形での調査結果報告を予定している。

(6) その他

事業者表彰(係長)

委員報酬支払(係長)

7 閉会 (課長)

* 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。

* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。